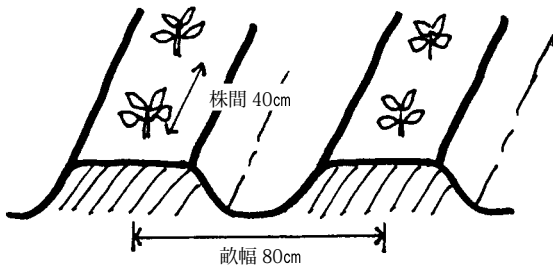
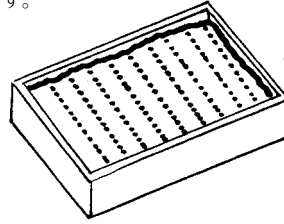


植え付け



種まき

発芽までの2~3日はぬれ新聞で覆います。



本葉2~3枚でポットに移植しましょう。

育苗箱に9cm間隔にすじまきします。

収穫



球の大きさが2~3cmになったら収穫します。

古い葉は取り除きましょう。

上の方の葉10枚ぐらいは常に残します。

摘葉・摘芽



10月に入った頃、下の方の老化葉は4~5枚かき取ります。根元に近い球も結球が悪いので、早めに取り除きましょう。

今月の作業

★春まき野菜の追肥

ホウレンソウ、ネギ、チンゲンサイなど葉菜類は、生育を見ながら10㎡当たり化成肥料40gを追肥します。

ナス、ピーマン、キュウリは一番果の収穫はじめより十五日おきに10㎡当たり化成肥料二〇〇~三〇〇gを追肥します。

★スイカ、カボチャの人工交配

つるの十節以上に雌花が咲き始めたら人工交配して着実な着果を図ります。開花した当日の早朝から午前九時ごろまでに行つて下さい。雄花の花弁を除き、なかの葯から出た花粉を雌花の柱頭へ軽くこすりつけてあげます。

スイカでは、交配した日付のラベルをつけ、収穫適期の判断に役立ちます。

楽しい家庭菜園



農業試験場三木分場
伊藤 博紀

メキャベツを作ろう！

キャベツの仲間で、葉のつけ根のわき芽がたくさん結球します。別名「子持ちカンラン」ともいい、和食、洋食、中華料理と用途は多彩です。夏まきで十一月〜二月ごろまで収穫できるので、楽しみな野菜です。

①栽培のポイント

キャベツより暑さに弱く、二、三℃を越えると結球できないので、栽培期間を間違えないようにしましょう。また、収穫期間が長いので、肥切れさせないことも大切です。

②家庭菜園に適した品種
品種は、早生、中生、晩生種がありますが、一般に栽培されている品種は、「長岡交配早生子持」や「ファミリーセブン」などです。

③畑の準備
植え付けの二週間前に、一〇㎡当たり堆肥二〇kg、苦土石灰1kgをまいて、荒起しをします。一週間前には、化成肥料を一〇㎡当たり1kg施し、幅八〇cmの畝を作ります。

④種まき
種まきは地床、育苗箱どちらを用いる場合も、播種後は十分にかん水し、発芽まで新聞紙等で乾燥防止を図りましょう。また、キャベツより高温、乾燥に弱いので苗床では強い日差しよりの遮光やかん水に努めて下さい。

⑤定植とその後の管理
本葉が六〜七枚のとき、株間四〇cmに植え付け、株元に十分かん水します。追肥は、植え付け三週間後に、化成肥料を一〇㎡当たり三〇〇g程度施します。その後は、一ヶ月間隔で二〜三回、最初の追肥と同量を施します。追肥をしたら中耕して、土寄せを行います。

一〇月に入ったところ下の方の老化した葉を四〜五枚かき取ります。さらに、根元に近い球は結球が悪いので早めに取り除きましょう。

⑥収穫
収穫は球の大きさが二〜三cmに肥大したものから順次かき取りますが、十一月下旬の取り始めのものは、品質がやや劣ります。十一月下旬以降は結球適温になりますので、硬く締まったメキャベツとなります。

栽培時期

作型 \ 時期	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	適する品種
夏まき栽培		○	△	—	—	—	■	■	■	■	長岡交配早生子持 ファミリーセブン

○ 種まき △ 植え付け ■ 収穫